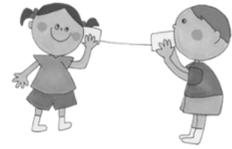


いと 系でんわ



～みんなの感想から②～



「ありのまま」について

○みんな個性がちがうから、ありのままを出せる人もいるし、出すことが難しい人もいるから、この学年目標を達成するのは簡単なことじゃないし、ゆっくり時間をかけて取り組むべきことだと私は思いました。お互いの知らなかったところを知ることで、相手の気持ちや意見を尊重し合ったり、助け合うことができると思います。みんなで目標に向かって成長できるように、一人ひとりの考えをこれからも大切にしていきたいと思います。

○一人ひとりの個性を大切に。1年生まではこのことを頑張ってきました。でも、この授業を聞いて、個性を大切にするだけじゃなくて、自分も個性を出さないといけないんだなと思いました。ありのままの自分も出さないといけないと知りました。最初に学年目標を聞いて、「あれ、1年生の時とあんまり変わってくない？」と思いました。でも、今日、全然違うということ強く感じました。みんなちがって、みんないいという言葉には、それぞれが違う個性の中で、お互いを認め合い、そして自分も、認めてもらうという意味がこめられているのかなと思いました。そして、とても良い言葉であり、難しい言葉だなと思いました。一人で悩んでいる人に、どのように声をかけたらいいのか、や、どのように友達や、友達になりたい人と話したらいいのかを改めて考え直すことができました。

○なかなかありのままの自分を出しにくいと思うから、ちょっとずつでも頑張りたいと思った。一人ひとりにいろんな個性があるから、みんなの個性を知れるようにしたい。でも個性を出すのは不安になってしまう時もあるから、そうになっている人がいたら声をかけて安心できるようにしたいです。自分も個性を出すのが不安だけど、相手にも心を開いてもらうには必要だと思うので頑張りたいです。わかば学級の人も、そうでない人にも教えられることがあったら教えてあげられるように努力したいです。

○個性を認め合うというのはとても大切なことだと思った。でも、個性を認め合うことより個性を出すことのほうが難しいんじゃないかなと思った。理由は、人間は仲間意識の強さのせいで「一人だけ違う」といったことに耐えられないからである。だから、相手にありのままの自分を求めるなら、自分から「ありのままの自分」をさらけ出していこうと思った。

○個性を認め合う、当たり前ようになってきているような今だけど、たぶん、できていない気がする。ありのままの自分を出すってなんだろう。まず、ありのままって何だろう、ありのままを出すってことは自分の中で思ったことをすぐに言うのがありのまま？何かちがう気がする。たぶん私はありのままを全てさらけだしてない気がする。だからって、自分が全を出したいとは思わない。ありのままって何だろう。

○ありのままをわがままとまちがえないようにしようと思った。

○正直ぼくは今、「ありのままの自分を出せる学年」とは思いません。だから、ありのままを出せる雰囲気を作って、考え方がちがっても、人や物にあたり、イライラせずに、違うことが当たり前だと心に入れることも大切だと思った。そっからやっとありのままを出せる学年になるのかなと思いました。

○ありのままを出すのなら、普通という考え方をくつがえす必要があると思う。人間が周りに合わせようとする『大衆性』という性質は人間の本能だし、しかたがないと思うけれど、だからこそ、それを乗り越えなければありのままなんてありえないので、普通や常識にとらわれずに、自分自身の考えを歯に布を着させずに、話せたらいいなと思う。それでも、きちんと相手のことを考えて、強い言い方をせずにあくまでも自分の考えを提案しているような形で話をし、相手にも話を振って、自分が一人で話をしているようにならないように、気を付けながら話すようにしたいです。

○私もみんなに話しかけたりするのは苦手なほうだし、意見を言ったり、文を書いたりするのも苦手だけど、意見がまちがっててもいいから言ってみようと思った。みんなに流されたり合わせないでもいいんだなと思った。後から後悔をしないように感情に流されずに行動しようと思った。私は小学校の時、ずっと偽物の自分でいたけれど、ありのままを出せるようになったらいいなあーと思った。

○わかばに行ってる・行ってない関係なく、全員が本当の「ありのままの自分」をだせるような学年をつくっていきたいです。

○僕はあまり本音を言わず、1年生の時の決意文やクラスミーティングの時もあまり本音を書きませんでした。でもできるだけ本音を言っていき、学年目標の「ありのままの自分」を達成できるようにがんばって2年生をやっていききたいです。

○3学期になったらみんなが個人個人の本音を言えるようにしたい。

○私の苦手・得意なことなども皆に知ってもらいたいと思いました。西中だけでなく、ありの

ままを出すというのは世の中でも必要だと思うので、出せるように頑張りたいと思いました。

○『ありのままを出す』っていうことは、一番はやっぱり普段から家族にはみんな出せてると思います。でも、学校ってなると話したことない人もいるし、不安になったりすると思うので、そこはクラスの人たちから不安をなくしてあげたいなと思います。わかばで勉強している人も、自分たちと授業の受け方は少し違っていると思うけど、どこにいても頑張ってるのはみんな同じと、毎回わかばのこの授業で思います。

クラスについて考える

○前のクラスでは2人わかばに行く子がいました。そのクラスでは弁当の前の時間にわかばに行っていて、自分たちよりも弁当の準備が遅れてしまうという状況になってしまった子のことをしっかりと待って、全員で食べ始める、ということをしていました。早く食べたいってたくさん思ったけど、その分、わかばの子だってそう思ってる、って思っていました。そうやって小さいことですが助け合っていました。だから、このクラスでもそうやって助け合えたいなと思っています。全員とたくさん話して、全員でこのクラスを支えてあげたいなと思います。全員で自信をもって、胸をはって、良いクラスを作っていきたいです。

○人それぞれ思っていることや考えていることがちがう中、そのことを誰かに話すだけで自分のありのままを出せたといってもいいのかなと思いました。逆に自分と全く同じ人がいないからこそ、ありのままの自分を出す意味、必要があるのかなと思いました。個性が豊かな人が一つのクラスに集まっているからこそ、世界に一つだけの個性あふれるクラスになるということがわかりました。日頃から認められるよと思わせるような空気や雰囲気をつくれれば、不安な人も安心してすごしていけるのかなと思いました。

○わかばの人たちとの共通の趣味とかが見つかったらいいなと思う。ありのままているのは難しいことだと思うけど、頑張ってそれを簡単にできるようになったら学校生活も楽しくなりそうだと思った。ちがいを認め合うにはまず仲を深めることが大事だと思ったから、山手線ゲームでみんなと仲良くなりた。あわよくば名前で呼び合えるまでになりたい。

○わかば学級に行っている子とたくさん話したいと思いました。個性を認め合ってありのままの自分が出せるクラスになったら楽しくなるんじゃないかなと思いました。ありのままを出せたら仲良くなるし、団結力がすごいと思いました。わかばに行っても、その子がクラスに自分の姿を出せるクラスにしたらとても過ごしやすいし、学校にも来やすいと思います。2年生で初めて同じクラスになった子にもたくさん話しかけたら新しい自分が出てくるんじゃないかなあと思い、たくさん話しかけられたらいいなと思いました。個性を認め合うクラスが一番団結力が強いと思うので、一人ひとりの個性を大事にしていきたいです。

○一人ひとりに居場所がある、あたたかいクラスにしていきたいなと思います。

○みんながつながることのできるクラスになったらいいなと思いました。

○世の中にはいろんな人がいて、それはこのクラスも同じだと思うので、これからいろんな人と関わって、いろんな人のことを知って、自分のことも知ってもらいたいと思いました。

○クラスには勉強、しゃべるのが苦手な人がいると思います。けれどもそんな人たちを助けられる人もいると思います。みんながいいところを出し合うと、いじめは自然にないクラスになると思います。

○自分のできることや長所で相手のできないことや短所を補い、自分のできないことや短所は相手に補ってもらえるようなクラス・学年になれば、学年目標に近づくとと思う。

○仲間がいれば短所が打ち消せると思った。

○ありのままの自分を出すことができるように普段から周りの人たちにあたたかく接するのはもちろん、失敗した事があっても笑ったりせずに「そういう事もあるよね」って認め合えるクラスになるといいなと思いました。全てを認めないといけないうちではないけど、みんなが安心できるクラスにしていけるといいなと思いました。なので、これから積極的に行動していきたいと思います。

○小学校の頃からずっと違いを言われ続けているけど、改めて2年になってクラスも変わって、ひとそれぞれ違うなと思ったし、違いがあるからこそ、わかば学級があって、ちゃんと人それぞれを尊重し合ったり、理解し合っているいいクラスを作っていきたいと思った。カエルの話みたいに、自分は相手を傷つけている自覚はないのに、相手は傷ついている、ということは日常生活でもよくあることだから、それは気をつけたいと思ったし、違いを笑ったりけなしたりするということも、今まで自分ではやっていないと思っているけど、もしかしたら気づかないうちに相手にやっているかもしれないと前よりも強く思うきっかけになったから、この授業で考えたことやみんなで考えたことを意識して過ごしたい。

○困っている子がいたら助けてあげられるような優しいクラスにちょっとでもなれるようにしていきたいです。学年目標みたいに、一人ひとりの違いを認め合えて、ありのままの自分を出せるようになったらとてもいいなと思いました。だからといって自分の素を全部出しているとは限らないけど、全員が「気持ちいいな、この学年」と思えるような学年になっていたらすばらしいなと思いました。